

令和6年度 第2回 光明小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月5日（金） 13時00から15時30分まで
- 2 開催場所 光明小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 笹竹 和行、河島 秀夫、大隅 智、小澤 房世、岡部 かおり、實森 浜代
関島 貴浩、山本 六二郎、太田 有昭、太田 利実保
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 新出 丈士（光明ふれあいセンター所長）
- 6 学 校 中野 主税（校長）、新 英樹（教頭）、土屋 淳心（CS担当職員）
横山 貴美恵（CSディレクター）
- 7 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵

10 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、校長から岡部委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）本日の授業を参観しての感想
- （2）学習支援ボランティアの活動報告と今後の取組について
- （3）学校評価アンケート項目について
- （4）教育機会確保法と学校をとりまく状況について

12 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち全員の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）本日の授業を参観しての感想

議長より、本日の授業を参観しての感想を求める発議があり、委員から以下の意見があった。

- ホワイトボードにみんなが集まってみんなが話し合えているのがよい。考えがまとまりそう。（会長）
- 毛筆の持ち方が気になった。SNSの問題について早いうちから話すことが大切だと思った。（小澤委員）
- 授業は楽しそうだが、書写で名前を書いてから字を書いているのが気になった。（實森委員）
- 廊下に掲示している絵について、2年生はよい。3年生はしっかり塗り込んでよい。音楽では楽しそうなのはいいが、しっかり体を楽器にして歌えるほうがいいのでは。授業の中で黒板に目標を書いていたのがよい。（河島委員）
- 意欲的な子が多いと思った。タブレットを使用したり全員が発言したりしているのはいいが、「みんなで一緒に」では学力に差がつかないのでは。（有昭委員）

- タブレットの使用により学習の仕方が変わり、これまでの同じ教育ではなく、子供にあった学習方法をとっている。（学力の）目標は同じだが、それに向かう方法は違ってよい。（教頭）
- ネガティブにとらえるのではなく、全体的に学力が上がっていると考えたほうがよいか。（有昭委員）
- それを目指しているが、教師のやり方や、児童の環境等にもよるため難しい。（教頭）
- 学習の内容と方法を分けて考えないといけない。タブレットは子供たちを授業に集中させるためのツールに過ぎない。教科書もツールです。学習指導要領に沿った学力をつけられるように、校内研修等を経て、子供たち個々に合った教育方法の引き出しを増やしてほしいと思う。（校長）
- 教師が学習指導要領等でゴール設定し、子供も自分に合った学習方法でゴールに向かうということですか。（有昭委員）
- 教師も子供たちと接する中で得た引き出しから子供たちにあった学習方法を示し、学力の向上に繋げていければと思う。（校長）
- SNS 指導について、個人情報の問題（法律に関する所）と道徳的なもの（これをされたら、相手はどう思うのか）も併せて学んでいける教育がいいのでは。（大隅委員）
- 普段から、問題発生したタイミングで情報共有し、即急に対応している。今回は法に触れる部分でもあり、緊急性を考慮しての指導だったが、今後、道徳面の指導もする。（校長）
- 自己肯定感が高い子を育てていく教育をしていると思った。教師から言われたことをやるだけでなく、子供にやり方を選んでもらう授業はいいと思う。（井島さん）

（2）学習支援ボランティアの活動報告と今後の取組について

土屋より、学習支援ボランティアの活動報告と今後の取組について、資料7、8頁を用いて説明があり、委員より以下の発言があった。

- ボランティア活動が定着してきたように思う。心づもりができボランティア同士も会話が増え、先生の方も対応等の流れができていと思う。（関島委員）
- 5年生の調理実習（じゃがいも、ホウレンソウをゆでる）では、子供たちは仲良くできている。手縫いでは、初めての子が多く針に糸を通すのが難しい子もいたが、わくわくしながら楽しんでやる様子がよかった。家庭科の先生もわかりやすくゆっくり丁寧に教えていてよかった。（實森委員）
- 子供たちが自分の名前（ボランティアは名札を付ける）を呼んでくれるのがうれしかった。（岡部委員）
- ボランティアも同じ人が来るようになってきた。地域の方への募集もかけて、もっと上の世代も来てくれるようにしてもいいのでは。（小澤委員）
- 夏の水やりボランティアでは、先生が学校に来られない土日に来ていただけて、大変ありがたい。（土屋）
- （修繕活動として）パンク等して使えない自転車が6台程あったが、たまたま知り合いで自転車屋さんをされていた方に相談したら、ボランティアとして修理していただけることになった。（小澤委員）

- 「虫博士」「竹細工」の講師ボランティアを考えているが、詳しい方を御存じないか。
(土屋)
- 昆虫食倶楽部代表の方が浜松市にいる。(有昭委員)
- 1年生対象ならそれほど詳しくなくてもいいと思う。私でよければ協力する。(河島委員)
- 竜洋昆虫自然観察公園の昆虫博士はどうか。(大隅委員)
- 予算面も含めてこれから検討していきたい。(土屋)
- 学校支援コーディネーターの引継ぎについて、心構えをしておきたい。任期最後の1年に引継ぎの方に来ていただく等、今後協議会等で意見をいただき、決めていきたい。(関島委員)
- ボランティアに来てくれる、お母さん等に声を掛けていきたい。(小澤委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校評価アンケート項目について

教頭より、学校評価アンケート項目について、資料9頁を用いて説明があり、委員から以下の発言があった。

- 「⑬姿勢」はどんなものか。(岡部委員)
- 昨年、保健の方で姿勢について問題があがったため、今回のアンケートに入れた。(土屋)
- 正しい姿勢について指導しているか。(岡部委員)
- 昨年度よりは、特に強くは言っていないように感じる。(土屋)
- 普段言われていないのでは答えづらいように思う。(岡部委員)
- このアンケートでどういったことが分かるのか。(河島委員)
- 例えば、保護者と児童の「⑮安全に気を付けた生活」の数値が高いが、教員の評価は低い。
- 「⑤挨拶」は先生の評価は高いが、児童保護者は低い。また、「⑪タブレット(以下略)」は3者一致している。そういった違いが興味深い。(土屋)
- 「⑪タブレット端末を使った学習が楽しい」の質問は、人により楽しい基準が異なり、違いが大きいように思う。(岡部委員)
- 全学年が分かるような質問内容にしているため、(楽しい等の判断について)難しい。(土屋)
- 本来出てほしい結果は3者のギャップ。それがPDCAにより反映されればよい。(大隅委員)
- (児童用アンケート)①②は自己評価、それ以降(③以降)は他者評価であるため、自己評価として答えてしまうということはないか。(有昭委員)
- 結果をみて分析していきたい。(教頭)
- 評価の結果の具体例は無いか。(河島委員)
- 学校評価の結果でしたら、学校ホームページで通知している。(土屋)
- 「④学校が楽しい」について、学校での子供と保護者の評価の違いが気になる。(関島委員)
- 浜松いじめアンケートで挙がってくる中で個人を特定できるため、対応している。(土屋)
- 浜松いじめアンケートでは言いづらい子もいて、学校評価アンケートの気軽さがあるところの方が言いやすく、(いじめに)気づきやすいのでは。(関島委員)

● 児童④⑧は同じようだが、分かれば楽しいのは当たり前で、どんな意味があるのか。

(利実穂委員)

→ (言い回しについては) 分かりやすい文言をつかって、答えやすい環境を作っている。

(土屋)

→ 結果は数値で出てくるので、それをどう判断するのかによる。(土屋)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 教育機会確保法と学校をとりまく状況について

校長より、教育機会確保法と学校をとりまく状況について、別資料「静岡県母親大会」を用いて説明があり、委員から以下の発言があった。

● これは子供食堂と同じように思うが、国からの予算等がないと難しいと思う。(河島委員)

● 他の自治体では、団体に寄付するところ、個人に寄付するところ等、少なからずやっている。

(利実保委員)

その他連絡事項等

教頭から、次回会議は、令和6年11月21日(木)9時30分から11時30分に開催する旨の連絡があった。